

参考資料 2：ブラジルに対する我が国の経済協力

1. 概要

ブラジルと日本の経済協力の関係は 1959 年の農業分野専門家の派遣から始まります。それ以降、農業分野におけるセラード開発、ウジミナス、セニブラ、アマゾンアルミなどのナショナルプロジェクトへの参加、人間的出産を進めた保健医療分野、SENAI への協力を通じた産業人材育成、地域警察活動を通じた治安改善への貢献、防災活動への支援などを進めてきました。また、人材育成ではブラジル政府関係者及び日系研修員を中心に 12,000 人以上が日本で様々な分野の研修に参加しています。我が国のブラジルに対する協力の基本方針として、持続的開発への支援と互恵的協力関係の促進を掲げており、これに基づき、以下のとおり援助重点分野を定めています。

① 都市問題と環境・防災対策

都市環境の悪化に対し、環境負荷の少ない環境配慮型都市構築分野において、環境・衛生の改善、交通渋滞の緩和に向けた支援、また、防災や地球規模課題の解決に資する支援。

② 投資環境改善

産業競争力強化のための環境整備や技術支援等、民間資金との連携も念頭に、人的資源の拡充を含め経済成長を促進する分野での支援。

③ 三角協力支援

日伯開発協力のパートナーシップ・プログラム (JBPP: Japan-Brazil Partnership Programme、2000 年締結) の枠組みを通じた、中南米やポルトガル語圏アフリカ諸国に対する三角協力。

また、近年では、ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策として、医療機材・試薬の供与及び技術支援等、ブラジル国のニーズに応じ柔軟な協力を実施しています。



写真 新型コロナウイルス感染症に係る支援

左：伯 13 病院へ CT スキャナーを無償供与（2020 年～2022 年）

中央：カンピーナス州立大学へワイヤレス心電図、手動式除細動器等を供与（2021 年）

右：院内感染防止の活動を支援するため、サンタクルス日本病院の帰国研修員を通じたフォローアップ協力を実施（2020 年）

2. 防災分野におけるブラジルに対する我が国の経済協力

上記のとおり、防災対策はわが国の援助重点分野の一つです。ブラジルでは急速な都市化が進むことで災害リスクが高いエリアにも人々の居住エリアが拡大する傾向があります。また、気候変動に伴う豪雨も頻発しており、適切な防災計画及び体制構築の必要性が高まっていることから、我が国は様々な協力を展開しています。

<支援事例1：チエテ川流域環境改善事業（1995年～2006年）>

サンパウロ都市圏の中心を貫流しているチエテ川とその支流では、毎年洪水が発生し河川沿いの幹線道路が遮断、居住・商業地域においては人的・経済的被害が際立っていたこと、更には同都市圏では人口の集中・産業の発達に伴い、新たに水源を確保し上水供給の安定化を進める必要性も高まっていたことを踏まえ、サンパウロ州水・エネルギー公団に対し、チエテ川の41km区間、並びにチエテ川の支流であるカブス・デ・シマ川の10.5km区間における河川改修や護岸・浚渫工事、2つのダム建設に対する有償資金協力を実施。

本支援により、毎年のように発生していた氾濫が数年に1回に減少し、地域住民に氾濫被害の少ない環境を提供したことにより、経済的・人的損失が減少すると共に、上流域に建設されたダムにより上水、灌漑用水、産業用水の安定供給が可能となった。



写真「チエテ川流域環境改善事業」

左：チエテ川流域で多発していた洪水被害（1983年2月の様子）

中央：河川改修後のチエテ川（改修後、当該地域では洪水被害は一度も起きていない）

右：実施機関による環境啓発活動（研修船で行っているゴミ投棄や衛生に関するセミナーの様子）

<支援事例2：統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト（2013年～2017年）>

900人以上の死者を出した2011年のリオデジャネイロ山岳地帯の土砂災害を踏まえ、連邦政府に対し、ブラジルの総合的な災害対応能力強化に向けた技術協力を実施。

本支援により、リスク評価・リスクマップに基づく都市計画案の作成、災害予警報体制及び災害観測・予測システムの構築がなされ、かつ防災活動の一元化に向けた連邦・州・市かつ多数の省庁、関連機関間の統合が達成され、防災マニュアルの作成などが実現。



写真「統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト」

- 左：自然災害を管理する国家災害リスク管理センターのオペレーションセンター
 中央：リオデジャネイロ州ペトロポリス市の土砂災害現場において、斜面崩壊の現象を調査分析
 右：2014年2月にブラジルで開催された第二回防災セミナー

<支援事例3：強靱な街作りのための土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト（2021年～実施中）>

災害の中でも甚大な被害をもたらす土石流をターゲットとして、地域開発省等に対し、構造物対策（進んだ日本の砂防ダム建設の知識適応）等を支援する技術協力を実施中。

本支援により、対策構造物にかかる技術指針の作成、対策構造物の計画・設計・施工・維持管理に関する能力を強化し、ブラジルの土砂災害に対する能力強化を図る。



写真「強靱な街作りのための土砂災害対策能力向上プロジェクト」

- 左：リオデジャネイロ州ノバフリブルゴ市での堰堤軸確認
 中央：技術委員会_鋼製構造技術会議
 右：合同調整委員会（JCC）

以上

各プロジェクトに関する詳細は以下をご参照ください。

- [ブラジルに対する医療機材供与を通じた保健システム強化のための支援](#)
- ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策のための緊急支援－[カンピーナス州立大学へ COVID-19 対策用資機材を供与](#)
- 日系社会研修「[5S-KAIZEN による保健医療従事者の管理能力の向上](#)」フォローアップ協力
- 有償資金協力「[チエテ川流域環境改善事業](#)」
- 技術協力プロジェクト「[統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト](#)」
- 技術協力プロジェクト「[強靱な街作りのための土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト](#)」